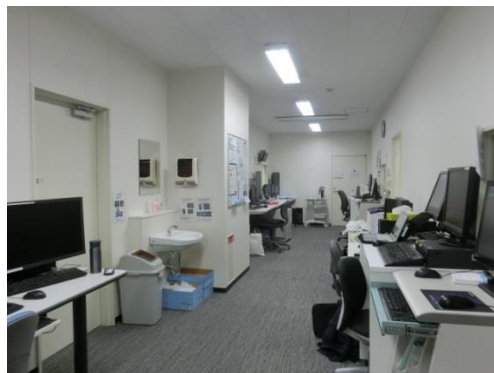


CT 室のご紹介

札幌禎心会病院 放射線部 放射線診断技術科 村橋 恵梨

11 月より東区北 44 条から北 33 条へ新築移転し診療科も増え（脳外科中心だった我々としては心臓とか…消化器とか…乳腺とか…毎日必死でございます。）病院名称は禎心会病院から札幌禎心会病院となりました。それに伴い放射線科も放射線診断技術科などとカッコイイ名称に変わり、機器も MRI や DSA 装置など 20 年以上愛用してきた装置は引退し、一新しました！（操作を覚えるのに毎日必死でございます。）ここは CT 遠友会ですので CT を中心にご紹介させていただきます。



それでは早速ご紹介。

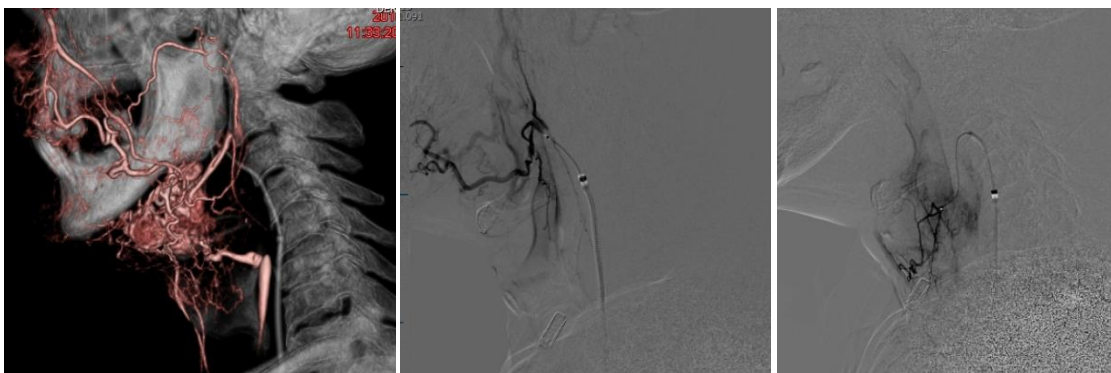
CT 装置はもともとは Aquilion ONE 1 台で運用していましたが、移転してから台数が増え 2 台？となりました！なぜ 2 台？とクエスチョンをつけさせていただいたかといいますと…新規装置は IVR-CT で CT2 台です！と声を大にして表現するには…う～ん…という気持ちがあるので 2 台？とさせていただきました。なぜ？本来この装置をベタ褒めするとしたら、CT (Aquilion PRIME 80 列) と IVR 両方できる素晴らしい装置であります。と、なりますが…、CT として当院で使用するには色々と制限があります。制限って何？って気になる方いますか？ならばサラッと、撮影可能範囲、造影剤の制限などです。（東芝さんごめんなさい。造影剤の制限は東芝さんではないですね）

ただ、いいところも沢山あります。放射線科の先生はとっても喜んでくれます。なにせ IVR をしながら CT をその場で撮影出来ちゃう優れものなのですから。そんな必要あるときあるかいな？と漠然と私なんかは思ってた訳ですが、ありました！IVR-CT が活躍する時が！この時はオォー！っと思いました。

IVR-CT 活躍の時はわりとスグやってきました。放射線科の先生が IVR 最中に「CTA 撮影してもらえる？」突如言ってきたわけです。私の心の声はというと

(ハァ?手押しで造影剤注入?タイミングは?)という感じでした。(今思えばお恥ずかしい…)先生が教えてくれた通りのタイミングで撮影したところ…大成功!だったらしく(あ~こういうふうにするのね)と IVR-CT の醍醐味を見せつけられた日でありました。

<症例 1 >



この症例はカテを目的部位まで上げ、CTAにて血管情報を確認しカテを操作することで直接栄養血管に抗がん剤を注入する治療です。

とっても大活躍しています。

これらのことから CT 装置としては 2 台?です。今後は Aquilion PRIME とし制限なく使用でき、さらに IVR-CT としても活躍し 2.5 台分、いや Aquilion ONE、Aquilion PRIME、IVR-CT とし 3 台分以上の活躍を期待したい所存です。

<検査室の外観>



Aquilion ONE (320 列)



Aquilion PRIME (80 列 IVR-CT)

それでは、みなさま最後までお付き合いありがとうございました。